

二松クラブをはじめたきっかけを教えてください。

昭和55年頃から、民生委員の活動と日本赤十字奉仕団の活動をしてきました。民生委員の活動地区が国立第二小学校の学区域だったこと、私の子どもも国立第二小学校に通っていたこともあり、育成会の会長をしていました。

そうしたなか、国立第二小学校の先生のご提案もあり、学校と保護者と地域とで、子どもたちの夏休みを充実させるための活動をしてみないかということで、二松クラブの活動が始まりました。

二松クラブの活動の中で意識してきたことを教えてください。

活動に参加してくれる皆さんは、それぞれの特技、例えば、お茶であったり、お花であったり、そうしたものを子供たちに教えて、興味を持ってもらい、視野を広げてもらうということを意識して活動してきたと思います。他にも、保護者の方で、解剖に詳しい方や様々な岩石の特徴、きれいな

石を子どもたちに教えたり、竹とんぼ、竹馬など、昔の遊びもありました。私は、日赤奉仕団の活動の中で得た、救護法を子どもたちに教えました。皆さんが得意とするものを楽しく子どもたちに伝えられたらと活動してきました。



△二松クラブ（茶道教室）

二松クラブの活動の中で印象に残っていることはありますか。

老人会のみなさんが、子どもたちに囲碁将棋を教えてくださいとこの話になった時に、碁石や碁盤などの道具が必要となり、当時、国立市社会福祉協議会の社協だよりで、市内の皆さんに使わない囲碁将棋の石とか盤を寄付してくださいと告知したところ、いくつもお寄付いただき、皆さんの優しさに感動した出来事がありました。

今後について教えてください。

まだ、元気なうちは、引き続き会の活動に協力して続けていきたいと思っています。



△二松クラブ（カーレット）



若松

社会奉仕功労
ふじ江氏

平成15年～現在 二松クラブの運営に携わっている